

## 鶴ヶ谷団地のあした



再整備がほぼ終了した鶴ヶ谷第1市営住宅。若い世代も来て、地域に新たな活気が生まれている（宮城野区）

## 支えあう安心

「日本一住みたいまち」の夢、後押ししよう。

鶴ヶ谷団地は、1万7000人が暮らす市内屈指の団地です。昭和40年代にモデル団地としてつくられました。高齢化が進むなか、第1市営住宅再整備がほぼ終わり、第2市営住宅の再整備が始まります。高見のり子議員は、提言しました。

## 子育て世代も流入

**高見議員**「第1再整備事業では、新しく建設された住宅に、子育て世代の誘導も行われ、新たな世帯の流入も始まっている。

鶴ヶ谷団地は、コミュニティが活発な地域だ。町内会、老人会、学校、体育振興会などに加え、こども

食堂、ラジオ体操グループなど様々な団体が活動している。その中から若い人たちが中心になり、高齢者も子どもも一緒に参加できるマルシェやビアガーデン、花火の打ち上げなどに取り組みたいとの機運が高まり始めた。こうした機運を後押しすることが必要だ。

第2市営住宅再整備では、文化やスポーツが楽しめる集会所を兼ねたホール建設を求める声もある」

**都市整備局**「集会所の整備を予定しており、規模や場所について入居者の意見を聞いているところ」

**高見議員**「住民のなかでは『日本一住みたいと思える鶴ヶ谷』を目指して、多くの人を呼び込みたいと夢が広がっている。外部から呼

び込む発想も必要だ」

**都市整備局**「地域の方々との交流やコミュニティの形成を検討する」

## 高齢者の見守り

**高見議員**「第2市営住宅再整備では、高齢者の見守りや支援を行うLSA室（ライフ・サポート・アドバイザー）を設置し、さらにシルバーハウジングやグループホームなども検討してはどうか」

**都市整備局**「第2住宅は第1住宅と同様、高齢化率が高く、見守り支援のあり方と整備を検討する」

**高見議員**「第2市営住宅再整備は、戸数を3割減らして1,630戸から

1,100戸にする案が検討されている。東日本大震災で復興公営住宅が建設されたが、入りたくても入れなかった被災者が何百世帯もあった。市営住宅の需要は、高まっている。今回の鶴ヶ谷第2市営住宅の建て替えでは、戸数を減らすべきではない」

**都市整備局**「需要量が減少する見込みだ」

## 空き家を減らして

**高見議員**「本市の市営住宅（1万1,963戸）は、様々な理由で約1,200戸も空き家がある。民間の大家さんだったら急いで手立てをとり、貸し出せるようにがんばる。国から災害公営住宅家賃低廉化事業などのお金がきているのだから、修繕などにあてるべきだ。わたし自身、シングルマザー2人から市営住宅の入居抽選に毎回当たらず困っているとの相談を受けている。空き家をできるだけ減らすようにすべきだ」



## 榴岡公園

兵舎を復元した仙台市歴史民俗資料館

# 戦争と平和を 考える場所。

桜の名所、宮城野区の榴岡公園。ここはかつて、陸軍部隊が置かれた地です。高見のり子議員は、戦争の歴史を伝えながら、平和の中でお花見やスポーツ、音楽などを楽しめる市民の憩いの場として公園を整備するよう求めました。

**高見議員**「あまり知られていないが、この公園は第2師団司令部、歩兵第4連隊の跡地で、明治、大正、昭和の戦争をすべて語る資料が残っている。

1873年、政府は徴兵令の布告を行い、全国に6つの鎮台（陸軍部

隊）を置いた。そのひとつが、仙台だった。鎮台は、やがて師団と名称を変え、日本帝国主義の軍隊として朝鮮、中国をはじめアジア諸国の人びとに対する侵略と戦争を行った。

### 歴史民俗資料館として

1874年には、榴岡に洋風建築の兵舎がつくられ、仙台城から第4連隊が移転した。その兵舎の1棟が復元され、仙台市歴史民俗資料館として1979年、開館した（写真）。ここには、旧歩兵連隊兵舎の一部や

戦争に関する資料5000点が展示、収録されている。戦争と平和を考える大切な場所だ」

**宮城野区**「歴史を伝える貴重な場所として、市内小学校をはじめ市民に親しまれている」

**高見議員**「軍都仙台の歴史を知ることができる公園だということを、公園パンフレットにもしっかり掲載することが必要だ」

### 数々の記念碑の保存

**高見議員**「公園には『ブーツの娘』像がある。宮城県大和町出身の彫刻家、佐藤忠良氏が制作したもので、平和を求め、未来をみつめる若い女性の姿を現したものだ。この像は、1984年に日本で開催された民間ユネスコ運動世界大会を機に建立されたものだ。

第四連隊長だった石原莞爾の碑や朝鮮戦役記念碑などもある。朝鮮戦役記念碑は、仙台の陸軍部隊の兵力が初めて他国に向けられた1884年の朝鮮・甲申事変を記録する記念碑だ。記念碑が今後も良好な状態を保つために、技術・工法の研究を行い万全をつくすべきだ」

**宮城野区**「専門業者によるひび割れの補修や風化防止を行ってきた。適正な維持管理に努める」

## 学校へのエアコン設置、 来夏めざし具体化を。 予算への討論

市議会最終日の10月5日、提出された予算に対し、高見のり子議員は日本共産党を代表して討論に立ち、22議案中3議案に反対しました。討論の一部を紹介します。

**高見議員**「今議会では、すべての会派が市立学校へのエアコン設置について取り上げた。市長は、日本共産党が代表質疑でエアコン設置を求めたのに対し『やらないという選択肢は、もはやない』と述べた。一刻も早く設置することが求められている。

2017年度の市財政は、約36億4000万円の大きな黒字を出し、基金（積立金）の残高は、総額1,530億円となった。この財政力があれば、エアコン設置も十分実現できる」

「根岸保育所長町分園、向陽台保育所を廃止する条例改正案が出されている。公立保育所の廃止・民営化は止めて計画を見直すべきだ。待機児童の解消、保育士不足など社会問題となる中、公立も民間も子どもたちのより良い保育のために力を尽くすことが必要だ」

「国保会計は33億7000万円の黒字額だ。一般



会計からの繰り入れは、当初予算より44億円減額している。このうち、法定外繰り入れ（市独自の繰り入れ分）31億円を活用すれば、ひとり当たり国保料を1万4600万円引き下げることができた。運用の考え方を加入者中心に改めることを求める」

「郡市政が2年目を迎え、市民からの注目と期待はますます高まっている。市民の願いにこたえる市政を実現することが求められる」